

2020

ノウフク
アワードNOUFUKU AWARD
2020

審査員特別賞

Special Jury Prize

全国農業協同組合連合会大分県本部 (大分県大分市)

受賞理由 きめ細かいマッチング

コーディネーターとして品目ごとに中心となる事業所とJAをマッチングしています。障害者だけでなく、主婦や学生、ニート、失業者などすべての国民が農業参加しやすい仕組みを目指しています。



概要 農業へのハードルを下げる

JA全農おおいたは、2015年から農業の人手不足に対応するため、共同受注事務局の社会福祉法人太陽の家とパートナー企業の株式会社菜果野アグリとともに労働力支援事業を行っています。作業の細分化・現金日払い・勤務日数の弾力化・現場への送迎によって働くハードルを

下げ、多様な人材を確保しています。2018年度末時点で40事業所がJAと年間契約を結んでいます。障害者と健常者の双方を活用して農家のニーズを満たす外部委託システムが完成。このシステムは18年度の内閣府の「地方創生」事例調査の対象に選ばれました。



成果 障害者と健常者が補い合う

<農林水産業>

・農福連携と補完し合う、2019年度の支援者数は、のべ21,349人にのぼります。コロナ禍で、生活困窮者や他業界からの人材を受け入れています。

<障害者等>

・障害者が担えない部分は健常者がサポートすることで活躍の場が大幅に広がりました。

<地域>

・人口減少中の日本では、生産年齢人口をすべて戦力とする必要があります。農業に関わるハードルを下げることで一直線に専業農家を目指せない人でも田園回帰を可能とすることで地方創生を進めています。
・この「大分モデル」を全国水平展開し、農業関係人口を増やします。

ノウフク